

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 ひきざん

76~87

●14-8, 13-6のような、くり下がりのあるひき算ができるようにします。

〈計算のしかた〉

14 - 8 (1) 14を10と4に分ける。
10 4 (2) 10から8をひいて2。
(3) 2と4で6。

ひかれる数を
10といくつ、に分ける
ことがポイントだよ。



くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算は、上の学年での筆算で使われます。ひき算カードなどで、しっかり練習させましょう。

3年 円と球、小数

下2~27

●円と球の性質や、円と球の中心・半径・直径の意味や性質について学習します。

●水のかさや数直線を使って小数を学習し、たし算やひき算を筆算で計算できるようにします。

〈小数の計算〉

2.6

一小小
の数数
位点第
一位

$$\begin{array}{r} 2.3 \\ + 1.8 \\ \hline 4.1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.3 \\ - 1.8 \\ \hline 1.5 \end{array}$$

- 1.位をそろえて書く。
- 2.整数のたし算やひき算と同じ
ように計算する。
- 3.上の小数点にそろえて、答
えの小数点をうつ。

5年 平均、単位量あたりの大きさ

18~38

●平均の意味を知り、単位量あたりの大きさの考え方を使って、こみぐあいや速さなどが比べられるようにします。

平均…いくつかの数や量を等しい大きさになるよ
うにならしたもの。

$$\text{平均} = \text{合計} \div \text{個数}$$

こみぐあいの比べ方①1m²あたりの人数で比べる。
②1人あたりの面積で比べる。

人口密度…1km²あたりの人口のこと。国や都道府
県などに住んでいる人のこみぐあいを表す。

$$\text{人口密度} = \text{人口} \div \text{面積}$$

2年 かけ算(1)

2~20

●かけ算の意味と式の表し方を知り、5のだん、2のだん、3のだん、4のだんの九九の練習をします。特殊な唱え方をする九九(二二が4, 三三が9など)は、特に注意しましょう。

〈注意〉 2×5と5×2のかけ算の式の意味の
ちがいに気づかせましょう。

$$\begin{array}{l} 1\text{つ分の数} \times \text{いくつ分} = \text{全部の数} \\ \downarrow \qquad \qquad \qquad \downarrow \\ (\text{かけられる数}) \qquad (\text{かける数}) \end{array}$$

九九の暗記が嫌いになってしまわない
ように、しからず、「九九の表を見て
ごらん。」などと、繰り返し声かけを
しましょう。



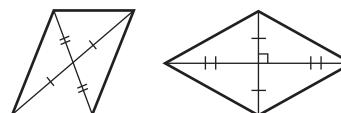
4年 垂直、平行と四角形

14~32

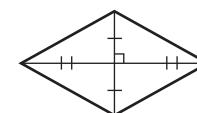
●いろいろな四角形の意味と特ちょう、かき方を知
り、対角線の交わり方がわかるようにします。

対角線は、四角形の向かい合った頂点をつないだ
直線です。

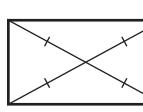
〈四角形の対角線〉



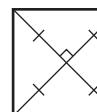
(へいこうし へんけい)
(平行四辺形)



(ひし形)
(がた)



(長方形)



(正方形)

ひし形は、形も
大きさも同じ4つ
の直角三角形に
分けられるよ！



6年 比例と反比例

150~172

●比例と反比例の性質・式・グラフを学習します。

〈比例〉

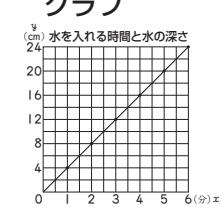
性質… x の値が□倍になると、

y の値も□倍になる。

式… y が x に比例するとき、

x と y の関係は、

$$y = \text{きまとった数} \times x$$



〈反比例〉

性質… x の値が□倍になると、

y の値が $\frac{1}{□}$ 倍になる。

式… y が x に反比例するとき、

x と y の関係は、

$$y = \text{きまとった数} \div x$$

